岩手県・三陸海岸

大震災体験の伝承・復興への歩み・生き抜く力

被災地だから「私たちには伝えなければならない責任」があります

岩手県田野畑村は、三陸復興国立公園の北部に位置し、「日本一の海岸美」と称される「北山崎」など恵まれた景観の中に人口3千人強の住民が漁業や酪農を営み、大自然や農山漁村の豊かさを五感で感じることができる場所です。

平成23年3月11日に村を襲った大津波は、住み慣れた家、船や漁港施設のみならず尊い人命をも奪い去りました。悲惨な現実やその後の不自由な生活を乗り越えて、なりわいの再興や復興へと歩むたくましい住民の姿は、訪れる生徒たちの目にどのように焼き付き、感性や心情に響いていくのでしょうか。

生徒個人が、置かれた状況に向き合い、自らがどのような行動をおこし、他の人々や社会とどのようにつながる大切さに気づくこと。「アクティブラーニング」により「生きる力」を身につける学びの場所がここにあります。

人気のサッパ船による漁業体験の現場

復元された体験施設「机浜番屋群」

復旧再開したホテル羅賀荘

■組織と教育訓練

「体験村・たのはたネットワーク」がコーディネート組織としてお問い合わせや手配のワンストップ化を図り、田野畑村役場が後方支援をする官民一体の体制を整え、学校や旅行会社の目的や要望に対し迅速かつ柔軟に対応します。

生徒個人が、置かれた状況に向き合い、自らがどのような行動をおこし、他の人々や社会とどのようにつながる大切さに気づくこと。「アクティブラーニング」により「生きる力」を身につける学びの場所がここにあります。

■民泊（ホームステイ）

漁家や農家を中心に90軒の受け入れ家庭があり、約250人の子どもたちと交流が可能です。津波で流失した自宅をようやく再建し、受け入れを再開した家庭もあります。久慈市など近隣市町村との広域的な連携により、最大360人規模の受け入れも可能ですのでご相談ください。

■宿泊ホテル

350人の収容能力を持つ「ホテル羅賀荘」は被災後にリニューアルオープン。屋内交流センターもホテルに隣接して整備されており、セレモニーや班別ワークショップなど多目的スペースの確保が可能です。宿を出るとすぐに体験現場という絶好のロケーションは滞在中に効率的なプログラムを組むことができます。

■SDGsプログラム

◎サッパ船アドベンチャーズ　津波被災から即座に運航を再開し、三陸地域の観光復興をけん引しています。漁に使う小型漁船（サッパ船）に乗り、断崖直下や岩礁の間を縫うように航行する漁師の勇姿に気迫を感じます。洋上や漁港での体験は、漁業の厳しさや漁師の知恵を伝えます。

◎漁師番屋　漁業体験施設「机浜番屋群」が復元され、「漁師料理」「塩づくり」など、地元漁師やおかあちゃんインストラクターが各種体験メニューを提供しています。

◎大津波語り部・震災遺構　被災した住民らが、津波の脅威、当時の自らの行動や辛い避難生活、支援や絆への思いについて、現地を案内しながら語ります。宿での「語り部」講演やグループでのワークショップについても対応が可能です。また、津波のエネルギーや被害の悲惨さを長く後世に伝えるため、被災した防潮堤が「震災遺構」として保存され、当時の状況がよりリアルに伝わります。

「大津波語り部」から生きる力を学ぶ防災学習

〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村机142-3
机浜番屋群内
TEL 0194-37-1211　FAX 0194-33-3355
E-mail:taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
URL:http://www.tanohata-taiken.jp/
NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
担当　楠田・赤坂

北海道・標津

北方領土の平和学習と全てがSDGsのほんもの体験

【知床の自然環境・産業・食・平和学習】

世界自然遺産知床の南に位置する標津町は、海、山、川、大平原の恵みが集まる、小さな北海道とも称されております。北は秘境、知床国立公園の山々が連なり、東の海岸から24㌔先に北方領土国後島が望め、内陸にはミルクの里の雄大な牧草地群が広がっております。これら豊かな自然資源のほか、国内屈指の漁獲を誇る秋サケなどの漁業資源や、広大な牧草地で2万頭以上の乳牛により牛乳を出荷する酪農業の基幹産業を活用した体験プログラムを中心に地域の人々と触れ合い、交流による体験プログラムで受け入れを行っております。

食への理解を深める新巻サケ作り

酪農体験

しべつ番屋で郷土料理を味わう

【食への理解を深める】

国内初となる食の安全・安心供給システムを水産業における「地域ハサップ」生産活動としてプログラム化し、学習素材として提供しています。製品検査だけでなく、原材料の生産から加工、流通に至るまでの全工程で工程中の重要な管理点を監視するシステムを当地ではイクラや新巻サケ作り体験などを通し、学びを深めていただきます。

酪農が盛んな根釧地域では、周辺地域との連携により約40軒、生徒数80人の酪農家民泊の受け入れを行っております。

【受け入れ対応】

受け入れの対応は、地域の各分野のいわゆる「名人」が事前に安全対策などを学びインストラクターとしての資質を兼ね備えた方々が中心となり体験活動を先導します。

また、大規模な宿泊施設がないなど不利な点もありましたが、小さな宿ならではのおもてなしを目指し、心のこもった地場産品活用メニューや体験交流食、アットホームな雰囲気づくりなど、生徒の皆さんや先生にも「田舎の親戚の所に来たみたい！」と喜ばれております。

事前に問い合わせをいただければ、目的や日程、人員などを考慮した企画、スケジュールの提案をさせていただいており、提案から受け入れまで責任をもって対応しております。

【平和学習　北方領土を考える】

終戦直後、旧ソ連軍が千島列島を侵攻し、北海道の間近までやって来たこと、北方四島に住んでいた1万7千人の人々が着の身着のままで島を追われた史実については、あまり知られていないのが国内的な現状です。そして島で暮らしていた元島民の高齢化に伴い、引き揚げ当時の様子などその真実を直接聞くチャンスが年々難しくなってきています。日本にも戦争の影が見え隠れする昨今、今一度戦争を知らない若い世代に、戦争の恐怖や平和の大切さを講話やグループワークを通して考える体験は、日本の領土が間近に見える当地ならではの平和学習プログラムです。

平和学習（北方領土講話）

【交流が育む体験型プログラム】

標津町では、自然、産業、歴史、平和を素材とした「エコ・ツーリズム交流」事業を展開しています。従来の有名観光地を巡るだけの修学旅行ではなく、地元住民との触れ合いや交流・体験から感動を共有します。体験では学生がまず「やってみる」ことにより、なぜできないのかを考え、地元住民との対話から解決するなど、自主性や解決力、対話力を養います。

これから、酪農業の仕事を通し、課題解決力や伝える力を醸成します。

【平和学習　北方領土を考える】

終戦直後、旧ソ連軍が千島列島を侵攻し、北海道の間近までやって来たこと、北方四島に住んでいた1万7千人の人々が着の身着のままで島を追われた史実については、あまり知られておりません。

〒086-1632北海道標津町北２条西１丁目１番３号
TEL 0153-82-2131　FAX 0153-82-1787
E-mail: eco-t@shibetsutown.jp
標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

SDGs 社会貢献の推進を

理念と実績で選ばれる、全国ほんもの体験ネットワーク・全国教育民泊協会加盟の地域

新学習指導要領改訂にSDGs対応して「主体的・対話的で深い学び」のために。

①新学習指導要領の改訂で従来からの「生きる力を育む」に加えて「主体的・対話的で深い学び」の視点から特別教育活動、とりわけ修学旅行等で、その実現に向けての期待が高まる。主体的に事前、事後学習を行うことに加え、現場での対話的な体験学習により狙いの深い学びとなる。旅行先での学習のテーマは地域事情に合致したものでなくてはならず、地域の魅力と課題を示すことにより主体的なテーマの選択が可能となる。

②地域とかかわる学びの形態の変化を体験交流で達成したい。

社会貢献・ボランティア活動により社会参画意識の向上を目指す必要がある。

③SDGs（持続可能な新しい価値創造）いろいろな分野での価値創造の必要がある。あらゆる教育課題を探求型・問題解決型・課題挑戦型・ディスカッション・ディベート・グループワークなど、学びの形態を変えて教育効果を追求しなければならない。

④主権者教育・18～19歳の投票率が3回の国政選挙でいずれも50％を切り、政治や将来を考え、あらゆる社会問題が自分に降りかかってくるという認識を持つ機会が必要である。

⑤キャリア教育・仕事は大変で面倒なものであり、だから仕事になり賃金がもらえるという基本を体験により理解する必要がある。安易な妥協と上っ面な体験は教育にならない。

ネットワークメンバーはいち早く、地域の「魅力と課題」や事前事後学習の資料提供などのお手伝いをしており、あらゆるご相談に応じております。

全国教育民泊協会を設立し、安全安心で教育効果の高い民泊を目指します。

①基本的な考え方

田舎は、澄みきった空があり、山や森から海に続く豊かな自然がある。そして、隣近所との信頼関係、家族の絆。人間関係が希薄な時代に日本人が忘れかけていた「心豊かな田舎の暮らし」がある。

そんな農家や漁家に滞在し、作業を手伝い、家の回りで採れた新鮮な山菜や野菜、あるいは川や海の魚などの地域食材でつくる田舎料理を学び、祖父母の年代と家庭の団らんを味わい、生活が全く異なる体験をすることから、地域の人々の生き様や、命の源の食生産を担う農山漁村の役割を理解し、自らの生活や生き方を省みる機会となってほしい。お客としてではなく家族の一員として迎え、親子や家族という当たり前にあるべき人と人の関係を確認し、互いの人生に大きく影響を与える巡り会いであることを願う。まさに食育、食農教育、魚食振興の現場である。

そして、家庭の温かさや家族の絆を胸に刻むことになり、人と人の心の通い合いであり、人間関係が希薄な今日、その構築能力は人に会い交流することでしか学べない。

②食育教育……食農・漁食振興・民家ステイへ期待度が大きい

修学旅行旅館のみならず大型旅館ホテルの食事には、輸入、冷凍、工場加工の業務用の出来合の総菜などのオンパレードである。また、インスタント食品、レトルト食品だとすると、生産地や食材の違いは分からない。コストを気にするのは当然だか、お腹がいっぱいになればいいなどと考えているなら、旅の魅力を半減させることになる。

今、日本にとってなぜ食育が重要か、共同調理が民家ステイの許可条件である。

❶農山漁村の仕事を手伝い、食料生産の現場の実態とその価値を理解する。

❷地産地消の意識を高め、地域経済に貢献し地域振興地方創生を推進する。

❸自分で食事を作れる人を育てなければ、日本の食文化は絶滅してしまう。

❹家族で家庭の食卓を一緒に囲む習慣を取り戻し、家族の絆を再構築したい。

❺和食が世界無形文化遺産に登録された。和食に自信と誇りを持つべきだ。

日本の農林水産業が生産しているものを消費する食文化を再構築しなければならない。生産者はおいしい食べ方を知っている。作物の作り方、料理の仕方、おいしい食べ方を教え伝える役割を担えるのも生産者である。生産現場での体験により、生産者から学び、日本の食文化を変えることは一次産業の発展につながることになる。

③田舎から田舎へ

農山漁村での民家ステイの教育効果は都市部の学校のみではない。田舎から田舎へであっても、同じ地域は在るはずもない。田舎の生徒がトラクターに乗っている姿も、漁船に乗っている姿もほとんど見ることはない。漁師の娘でも魚を捌けないことも少なくない。親や祖父母のお陰で田舎に暮らしていながら、自らが田舎暮らしをできそうもない。田舎体験が人生経験とし生涯に役立つことばかりである。

④安全対策・危機管理・法令遵守

体験プログラムや民家ステイは取り組む地域が拡大し続けている。しかし残念ながら、理念や教育効果の意識、あるいは、安全対策、危機管理、法令遵守などのスキルを高めようとする志と行動が足りないところが存在する。

全国ほんもの体験ネットワークでは品質の維持向上のため、安心して選ばれる地域に成るために毎年インストラクターや民家ステイの担い手向けに研修会を実施している。

北海道知床標津町感動体験
標津町エコツーリズム交流推進協議会
〒086-1632
北海道標津郡標津町北２条西１丁目 1-3
TEL:0153-82-2131
FAX:0153-82-1787

いわて くじし こころの体験
ふるさと体験学習協会
〒028-8030
岩手県久慈市川崎町 1-1
TEL:0194-75-3005
FAX:0194-75-3007

番屋エコツーリズム
NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
〒028-8402
岩手県下閉伊郡田野畑村机 142-3
TEL:0194-37-1211
FAX:0194-33-3355

南会津農村生活体験推進協議会
みなみやま観光株式会社
〒967-0004
福島県南会津郡南会津町田島字後町甲 3973-1
TEL:0241-62-2250
FAX:0241-62-7788

越後田舎体験
越後田舎体験推進協議会
〒942-0411
新潟県上越市安塚区安塚 722-3
TEL:025-592-3988
FAX:025-592-3324

秩父に泊まろう!～秩父地域民泊体験～
一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032
埼玉県秩父市熊木町 9-5
TEL:0494-26-6260
FAX:0494-26-7331

横須賀西海岸体験たび推進協議会
横須賀西海岸体験たび推進協議会
〒238-0004
横須賀市小川町 14-1
TEL:046-824-4216
FAX:046-824-2019

感動体験南信州
株式会社 南信州観光公社
〒395-0152
長野県飯田市育良町 1-2-1
TEL: 0265-28-1747
FAX : 0265-28-1748

若狭美浜はあとふる体験
若狭美浜 はあとふる体験推進協議会
〒919-1131
福井県三方郡美浜町木野 21-4-1
TEL:0770-32-2222
FAX:0770-32-6667

三方よし！ 近江日野田舎体験
一般社団法人 近江日野交流ネットワーク
〒529-1602
滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目１番地
TEL:0748-52-6562
FAX:0748-52-8888

忍者の里こうかで田舎体験
甲賀市都市農村交流推進協議会
〒528-8502
滋賀県甲賀市水口町水口 6053 番地
TEL:0748-69-2192
FAX:0748-63-4592

大和・飛鳥民家ステイ
一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム
〒634-0112
奈良県高市郡明日香村島庄 5
TEL:0744-54-1525
FAX:0744-54-1526

南紀州　ほんまもん体験
一般社団法人 南紀州交流公社
〒649-2532
和歌山県西牟婁郡白浜町安居 306-1
TEL:0739-53-0055
FAX:0739-34-5010

広島湾域まるごと感動体験
広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
〒730-8510
広島市中区基町 5-44
TEL:082-555-8081
FAX:082-222-6622

南阿波よくばり体験
南阿波よくばり体験推進協議会
〒775-8570
徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村 14
TEL:0884-72-2622
FAX:0884-72-2623

ほんものの田舎体験 そらの郷山里物語
一般社団法人 そらの郷
〒778-0005
徳島県三好市池田町シマ 995 番地 1
TEL: 0883-76-0713
FAX : 0883-72-0753

黒潮・清流・里山の恵みを体感！
一般社団法人 幡多広域観光協議会
〒787-0014
高知県四万十市駅前町 15-16
TEL:0880-31-0233
FAX:0880-31-0660

ふるさと南予感動体験
一般社団法人 八幡浜市ふるさと観光公社
〒796－8501
愛媛県八幡浜市北浜 1-1-1
TEL:0894-22-0855
FAX:0894-22-5653

松浦党の里　ほんなもん体験
一般社団法人 まつうら党交流公社
〒859-4778
長崎県松浦市御厨町田代免 601 番地
TEL:0956-41-7171
FAX:0956-75-3001

五島感動しま旅！
五島市体験交流協議会（株）JSH
〒853-0005
長崎県五島市末広町 3-4
TEL:0959-76-3600
FAX:0959-88-9346

体験交流型教育旅行 田舎暮らし体験
北きりしま田舎物語推進協議会
〒886-0003
宮崎県小林市堤 108 番地１八幡原市民総合センター
TEL:0984-22-3020
FAX:0984-22-3020

沖縄体験観光協会
一般社団法人 沖縄体験観光協会
〒905-1205
沖縄県国頭郡東村字慶佐次 82「やんばる自然塾内」
TEL:0980-43-2571
FAX:0980-43-2585